令和２年 10 月 19 日

血液内科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

研究課題名　腎・副腎病変を有するびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫（DLBCL）における予後や中枢神経再発との関係

研究機関　　市立札幌病院　（血液内科）

研究責任者　血液内科／齋藤　祐美花

研究の目的

びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫（DLBCL）では、2～10%に中枢神経系再発が起こるとされており、その予後は不良です。近年、腎・副腎病変を有する DLBCL では特に中枢神経再発のリスクが高いという報告がみられており中枢再発予防が考慮されますが、正確な生命予後・中枢神経再発率に定まった見解はありません。

そのため今回の研究では、当院にておいて治療を行った DLBCL の患者さんのうち、腎・副腎病変を有する方の予後や中枢再発率の関連を調べ、腎・副腎病変のない方のデータと比較し、より適切な治療方針を検討することを目的としています。

研究の方法

１　対象となる患者さん

びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の患者さんで、2009 年 1 月から 2020 年 3 月の間に治療(化学療法)を受けた方

２　利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査；PET/CT、CT）

個人情報の取り扱い

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

※上記の研究に診療情報を利用することをご了解いただけない場合は、ご連絡ください。

【お問い合わせ先】
北海道札幌市中央区北 11 条西 13 丁目
市立札幌病院血液内科